

戦後の異郷に遺棄された人々、いわゆる「中国残留孤児」と呼ばれる人たちの集団が、再度訪日して肉親を探す営みを始めている。連日、テレビの画面に現われる期待と不安に満ちた表情に接しながら、人間にとって、「祖国」とか「故郷」というものは、一体、何なのだろうかという、言いようのない思いに抱えられている。

この人たちは、生後間もなく肉親と別れて中国人の手に委ねられ、中国式の育児法で育てられた。中国語を話し、中国風に生活し、中国人として思考し行為するであろうことはいうまでもない。しかも、現在は、中国人の配偶者や子どもに囲まれて、中国社会の一員として生きていくわけだ。にもかかわらず、これまで何のかかわりもなく、見たこともない日本に、「祖国」「母なる故郷」として、こんなにも熱く切ないまなざしを注ぐとは……。

「故郷喪失」などという言葉を、私どもは安易に口にするけれど、「故郷」の方では、さほど簡単に私どもを手放してはくれないのかも知れない。「祖国」とか「故郷」とかいうものは、あれこれの具体的結び付きを超えて、私どもの中に、しっかりと深い根を下ろしているのだろうか。

然し、一方では、海外で育った若い人たちから、こんな言葉が聞かれる。「自分の両親は日本人であり、髪も目も黒いけれど、私自身は日本人だと思っていない。自分のアイデンティティは、幼児期からハイスクールまで、アメリカで形成された。英語で感じ考える自分は、むしろアメリカ人ではないかと思う」と……。人としてのすべてを中国に負いつつ、なお日本人であろうとする人々と、この若い人たちの二様の言動は、私どもに何を問いかけているのだろうか。(H)

幼児の教育 第八十三巻 第二号

二月号 ◎

定価三〇〇円

昭和五十九年 一月二十五日 印刷

昭和五十九年 二月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 発行人 本 田 和 子

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良品がございましたら、おとりかえいたします。